

【JICA 主催：映画祭のご案内】
第7回アフリカ開発会議横浜開催 連携事業

独立行政法人国際協力機構 横浜センター
2019年7月19日

JICA 映画祭 for アフリカ



—僕らの日常、彼らの^{リアル}現実—

8月10日(土)・11日(日)、JICA 横浜で開催！ 入場無料！



JICAは8月10日(土)、11日(日)の2日間、JICA 横浜センター体育館で「JICA 映画祭 for アフリカ」を開催します。今年8月28日～30日に横浜で開催される第7回アフリカ開発会議(TICAD7)を目前に、広く一般市民の方々が、アフリカの多様な民族や文化、社会・経済状況に関する情報に触れ、同地域をより身近に感じて頂きたいと、当イベントを開催いたします。また、国際協力に対する理解、参加を考えられる機会として企画しました。

日時：2019年8月10日(土) 11時～19時30分(10時30分開場)
8月11日(日) 11時～19時00分(10時30分開場)

会場：JICA 横浜センター地下体育館

主催：JICA

協力：横浜 NGO ネットワーク

参加費：無料

イベント内容：

熱気溢れるアフリカの大地からやってきた、決して屈する事の無い、強く生きる人々の物語・ドキュメンタリー映画をギュギュッと凝縮した2日間。上映作品の監督やアフリカで実際に活動するゲストを招いたトークイベントも交え、アフリカの背負ってきた歴史や溢れんばかりの魅力を、掘り下げる映画祭です。

ブース出店やステージイベントでは、アフリカの書籍やアクセサリー、バッグに、ペインターさんの作品、食品などの物販や、アフリカで暮らし活動していた元協力隊員から、リアルな話を聞けるブース等々盛りだくさん。ぜひ JICA 横浜へ足をお運び下さい。

(タイムテーブル、上映映画内容などは別紙の通りです)

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 映画祭 for アフリカ 事務局
NPO 法人横浜コミュニティデザイン・ラボ
担当：室賀 ゆり子(045-664-9009)
E-mail：muroga@yokohamalab.jp

JICA 横浜イベント情報：
<https://www.jica.go.jp/yokohama/event/>
イベント詳細 WEB サイト
(NPO 法人横浜コミュニティデザイン・ラボサイト内)
<https://yokohamalab.jp/jica-cinema-festival-for-africa/>

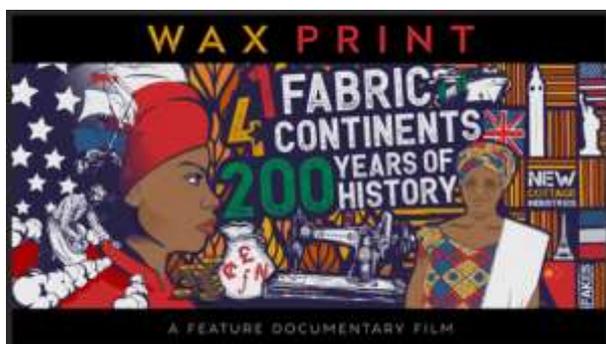
タイムテーブル：

1日目:8月10日(土曜日)	
10時30分	開場
11時00分	開演
11時05分	『Wax Print』上映(西アフリカ) : 100分
12時45分	お昼休憩 : 45分
13時30分	『チョコラ!』上映(ケニア) : 94分
15時05分	チョコラ監督 小林茂氏 トークセッション
15時40分	休憩(ブース紹介)
16時00分	NPO法人world theater project 代表教来石小織氏トークセッション
16時40分	『女を修理する男』上映(コンゴ) : 112分
18時30分	コンゴの性暴力と紛争を考える会 (ASVCC) トークセッション
19時00分	ブース紹介・プチ交流会
19時30分	終了予定
2日目:8月11日(日曜日)	
10時30分	開場
11時00分	開演
11時05分	『アフリカ・ユナイテッド』上映(ルワンダ) : 90分
12時40分	お昼休憩 : 60分
13時40分	『バレンタイン一揆』上映(ガーナ) : 64分
14時50分	NPO法人ACE講師 トークセッション
15時20分	休憩(ブース紹介)
16時00分	ステージイベント
16時30分	『おじいさんと草原の小学校』上映(ケニア) : 103分
	※一部暴力的な場面がありますので、観賞は15歳以上をお勧めします。
18時20分	クロスマイク (JICA派遣体験談)・ブース紹介・プチ交流会
19時00分	終了予定
※当日スケジュールは大きくは変更しませんが、進行状況によって多少前後する可能性がありますので、ご注意ください。タイムテーブルの最新の情報は当イベント事務局WEBサイトでご確認ください。	

上映映画：（※上映内容を変更する場合は、当WEBページにて変更内容をご案内します。）

①『Wax Print』（100分）製作2018年 監督Aiwan Obinyan

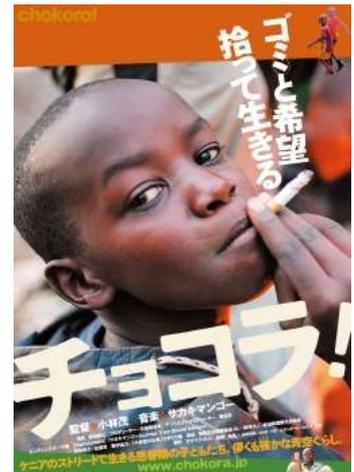
【Wax Printはどこから来たのか】（音声：英語 字幕：日本語）



植民地時代にオランダによってインドネシアのワックス布がアフリカに持ち込まれて以来、アフリカの人々のアイデンティティにもなっている色鮮やかなアフリカのワックスプリント。監督のAiwan Obinyan氏は、イギリス生まれのナイジェリア人。映画監督や作曲家、ファッションデザイナーを生業とする。ワックス布の歴史や文化、移民、植民地、奴隷制、盗用など様々なキーワードが凝縮されたドキュメンタリー映画。

- ②『チョコラ!』(94分) 製作 2009年 監督小林茂©2009 Yoshida Taizo
 【ゴミと希望拾って生きる! 儂くも強かな青空暮らしの子どもたち】
 (音声: 英語 字幕: 日本語)

ケニア首都ナイロビからほど近い地方都市・ティカ。この街のストリートで暮らす子どもたちは、ゴミを拾い集めて生計を立て、夜の厳しい寒さや空腹を忘れるためにシンナーを吸う。「チョコラ」とはスワヒリ語で「拾う」、侮蔑的な意味も持つ。過酷な生活の中、お互いに助け合い力強く生きる子供たち。それぞれ人には言えない事情を抱えながら…。被写体との信頼関係を起点とした映画づくりで、ユーモラスでありながら実情を描いたドキュメンタリー。



- ③『女を修理する男』(112分) 製作 2015年 監督ティエリー・ミシェル
 【1人の医師の勇気ある行動が世界を動かし 4万人以上の性暴力被害女性を治療した】
 (音声: フランス語 字幕: 日本語)



2018年ノーベル平和賞受賞を受賞した、コンゴ人婦人科医のデニ・ムクウェゲ医師の命がけの医療を追ったドキュメンタリー。コンゴ民主共和国で性的被害にあった女性達を治療するデニ・ムクウェゲ医師は、2012年に脅迫を受け一時は海外へ。しかし翌年には命の危険を冒して再びコンゴに戻る。そして命がけの治療を再開する。

- ④『アフリカ・ユナイテッド』(90分) 製作 2010年 監督デブス・ガードナー・パターソン
 【ワールドカップ南ア大会へ行きたい! 5000キロを旅した5人の子どもたち】
 (音声: 英語 字幕: 日本語)



2010年ロンドン映画祭、トロント国際映画祭、正式出品。W杯開会式に招待される“エスコート・キッズ”の選考会に参加するため、ルワンダから5000キロを自力で旅した子どもたちの物語。首都キガリをめざしてバスにこっそり飛び乗った…が、着いたところはコンゴの難民キャンプ! それでもあきらめきれない子ども達は、一路南アフリカを目指して歩き始めた。

- ⑤ 『バレンタイン一揆』 (64分) 製作 2012年 監督吉村瞳
 【児童労働って? フェアトレードって? 小さな一歩をふみだした、日本の女の子たちの奮闘記】
 (音声: 日本語)



NPO 法人 ACE 設立 15 周年記念ドキュメンタリー映画。日本の女の子 3 人が、ガーナで出会ったのは、子どもたちが学校に通うこともできない「児童労働」という現実。バレンタインデーに、フェアトレードでつくられた、ほんとうに愛のあるチョコレートを選んでほしい。彼女たちは「バレンタイン一揆」を開始。果たして、彼女たちの想いはみんなに届くのか??児童労働の問題と出会い、悩み、闘った、日本の女の子たちの物語。

- ⑥ 『おじいさんと草原の小学校』 (103分) 製作 2010年 監督ジャスティン・チャドウィック
 【夢は学校に行くこと。過去に打ち勝ち、未来を変えた“84歳の小学生”の真実の物語】
 (音声: 英語 字幕: 日本語)



2003 年ケニア政府がついに無償教育をスタートし、小学校の前には何百人もの子供たちが押し掛けた。その中にただ一人、老人の姿が。独立戦争の戦士として闘い、愛する妻子や仲間を目の前で虐殺され、強制収容所で拷問にかけられた日々…。過去に打ち勝つため、未来を変えるため、マルゲは勉強を続ける。その情熱は、歴史を知らない若い級友たち、そして政府までも動かしていく。(一部暴力的な場面がありますので、観賞は 15 歳以上をお勧めします。)

【関連情報】

1. JICA 横浜でアフリカを食べよう！

JICA 横浜 3階の、港が見えるレストラン Port Terrace Cafe（ポート テラス カフェ）では、6月3日（月）から9月1日（日）まで、アフリカの各国料理を週替わりで提供しています。

2. JICA と横浜市 の取組を紹介する動画「JICA と横浜市 アフリカ とともに未来へ」

独立行政法人国際協力機構（JICA）と横浜市は、ともに、培ってきた経験、知恵、スキルを、海を越え、アフリカと共有する取組を行なっています。JICA と横浜市 の取組を紹介する動画「JICA と横浜市 アフリカ とともに未来へ」が横浜市 YouTube 公式チャンネルで公開されています。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/kokusai/kokusai/Africa/20190422africamovie.html>

3. 海外移住資料館 企画展示「コーヒーが結んだ日系人と日本」開催中

JICA 横浜では、日本人の海外移住の歴史、そして移住者とその子孫である日系人について、広く一般の方々にご紹介する「海外移住資料館」を開設しています。（入館料無料、開館時間 10：00～18：00）

6/29（土）から 10/6（日）までは「コーヒーが結んだ日系人と日本」という企画展を開催中です。この機会に是非お立ち寄りください。

4. まるごと体感！アフリカデー

2019年8月24日（土） 13:00～16:30 【会場】JICA 横浜

アフリカの子供たちの絵本読み聞かせや、来日中の研修員による衣装紹介や音楽演奏が楽しめるイベントです。

当日 13：00 からは、アフリカ文学研究者の村田はるせ氏による講演会「絵本のなかのアフリカのこどもたち」も開催いたします。

5. Bon for Africa ～アフリカ盆踊り～

2019年8月27日（火） 17:00～20:00 【会場】象の鼻パーク（雨天時：JICA 横浜体育館、荒天時：中止）

日本とアフリカとの異文化ミックス盆踊り「Bon for Africa」は、美空ひばりの「川の流れのように」を使用し、孝藤右近（創作日本舞踊家元）の振付にて創作されました。

「Bon for Africa」～アフリカ盆踊り～では、来場者が孝藤右近や DJ K00 と一緒に「Bon for Africa」を踊ります。盆踊りに加え、音楽ライブやダンスパフォーマンス、ファッションショーなど、アフリカと日本のカルチャーを体感できるイベントです。

第7回アフリカ開発会議
横浜関係連携事業



JICA映画祭

for

アフリカ

僕らの日常、
彼らの現実。
リアム



2019

熱い気流が大地から湧き上がり、決して戻す事の無い人々の物語・ドキュメンタリー映画をぎゅぎゅッと連続した2日間、彼らが背負ってきた歴史や溢れんばかりの魅力をトコトン掘り下げる映画祭です。

ブース出展内容

- ・書籍(アフリカの文化やレシピ、童話など)
- ・アフリカンアクセサリー・はちみつ(マラウイ)
- ・コーヒー豆(ルワンダ)・アフリカ布バッグ
- ・小物(ケニア)・アート作品(ルワンダ)
- ・ジャンベワークショップ(西アフリカ)

8/10 SAT.
11:00-19:30
[10:30 OPEN]

11:05「Wax Print」
(西アフリカ, 100分) 2018年制作 Alwan Obinyan監督
【Wax Printはどこから来たのか】

13:30「チョコラ!」
(ケニア, 94分) 2009年制作 小林茂監督
【ゴミと希望拾って生きる! 夢くもしたたかな青空暮らしの子どもたち】

15:05トークセッション
「チョコラ!」監督 小林茂氏

16:00トークセッション
NPO法人world theater project 代表 教来石小織氏

16:40「女を修理する男」
(コンゴ, 112分) 2015年制作 ティエリー・ミシェル監督
【1人の医師の勇気ある行動が世界を動かし4万人以上の性暴力被害女性を治療した!】

18:30トークセッション
コンゴの性暴力と紛争を考える会 (ADVOC)

JICA FILM FESTIVAL FOR AFRICA

参加費: 無料

★上映作品には全て日本語字幕が付きます。
★表記している国名は、映画の主な舞台となった場所を指します。

8/11 SUN.
11:00-19:00
[10:30 OPEN]

11:05「アフリカ・ユナイテッド」(ルワンダ, 80分) 2010年制作 デブ・ゴドナー・ベターソン監督
【ワールドカップ南ア大会へ行きたい! 5000キロを旅した5人の子どもたち】

13:40「バレンタイン一揆」(ガーナ, 64分) 2012年制作 石村雄監督
【児童労働って? フェアトレードって? 小さな一歩をふみだした、日本の女の子たちの奮闘記】

14:50トークセッション NPO法人 ACE 講師

16:30「おじさんと草原の小学校」(ケニア, 103分) 2010年制作 ジャスティン・マドウィック監督
【夢は学校に行くこと、過去に打ち勝ち、未来を築いた「84歳の小学生」の真実の物語】

©2009 British Broadcasting Corporation, UK Film Council and First Grade Productions Limited. All Rights Reserved.
※一部暴力的な場面がありますので、観賞は15歳以上をお勧めします。

会場: JICA横浜センター 地下体育館
〒231-0901 神奈川県横浜市中央区新港2-3-1



お問い合わせ: JICA映画祭 for アフリカ 事務局

NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボ (担当 室賀)

電話 045-664-9009

メール muroga@yokohamalab.jp

https://yokohamalab.jp/jica-cinema-festival-for-africa/

※上映内容を変更する場合は、当WEBページを更新します。